



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 ジェイ・エスコムホールディングス株式会社
コード番号 3779 URL <http://www.j-escom.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 利興

問合せ先責任者 (役職名) 業務管理統括本部 部長 (氏名) 丸山 博之

TEL 03-5114-0761

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,238	18.1	194		177		239	
2023年3月期第3四半期	1,048	37.4	50		48		41	188.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 235百万円 (%) 2023年3月期第3四半期 33百万円 (131.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第3四半期	20.68	
2023年3月期第3四半期	3.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第3四半期	2,366	404	12.2	24.89
2023年3月期	2,821	627	18.6	45.31

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 287百万円 2023年3月期 524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える不確定な要素が多く、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、詳細につきましては添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	11,567,990 株	2023年3月期	11,567,990 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	317 株	2023年3月期	317 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	11,567,673 株	2023年3月期3Q	10,512,491 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行したこともあり、社会・経済活動の正常化が進み緩やかな回復基調となりました。しかしながら、引き続き物価上昇や為替動向、地政学的なリスクなど様々なリスクが存在しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、理美容事業及びコンサルティング事業は事業規模を縮小し、昨年度より開始したデジタルマーケティング事業及びファンド運営等の投資事業を中心に積極的に事業運営を進めております。

通信販売事業につきましては、顧客企業のニーズに合わせた収録やインフォマーシャルの制作受託は増加傾向にあり、またアウトバウンドやDM発送等においては新たな商品の取り扱いも開始しております。加えて、外部委託先を有効に活用することで、利益率の向上を図っております。

デジタルマーケティング事業につきましては、日本市場での利益確保のため、積極的な顧客企業の開拓、取り扱い商材の拡大、システム構築等を引き続き進めており、新規顧客として自治体向けの案件の取り扱いも開始しております。現状、日本での事業は黒字化には至っておりませんが、流通額及び売上高は順調に増加しております。

投資事業につきましては、ゲーム事業への投資に関連して、当該ゲームのIPを活用した商品開発・販売を強化するために株式会社サンマリノとの業務提携契約を締結し、主にアパレル・ファッション雑貨分野でのコラボレーション企業の開拓や商品企画を進めております。ゲーム事業に関しては、現時点では配信されていないため収益は計上されておきませんが、当該業務提携等により収益機会の確保を進めております。

また、当社グループのクライアント企業をはじめとした各企業に対してマーケティング・プロモーションの支援や各種イベントの企画、運営を支援するために新会社を設立し、クライアント企業、案件の開拓も開始しております。

なお、当社連結グループにおけるデジタルマーケティング事業の決算数値については決算期が12月であることから、3カ月遅れで取り込んでおります。

上記の結果、当第3四半期における業績につきましては、売上高は1,238,399千円(前年同四半期比18.1%増)、営業損失は194,497千円(前年同四半期は50,400千円の営業損失)、経常損失は177,006千円(前年同四半期は48,321千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は239,233千円(前年同四半期は41,747千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、前述のとおり事業展開を行っておりますが、業界内の競争も引き続き厳しい状態であり、当該事業における売上高は347,014千円(前年同四半期比35.2%減)となりました。

② デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業につきましては、新規案件の獲得等により売上高は拡大しているものの、日本において先行投資をカバーできる水準までの計上できておりません。その結果、当該事業における売上高は805,585千円(前年同四半期比123.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は2,366,504千円となり、前連結会計年度末に比べて455,289千円の減少となりました。流動資産は1,951,366千円となり、前連結会計年度末に比べて526,420千円の減少となりました。この減少は、主に現金及び預金292,680千円及び売掛金230,332千円の減少によるものであります。固定資産は415,137千円となり、前連結会計年度末に比べて71,131千円の増加となりました。この増加は、主に投資その他の資産のその他のうち出資金100,000千円の増加によるものであります。流動負債は1,900,237千円となり、前連結会計年度末に比べて21,991千円の増加となりました。この増加は、主に1年内返済予定の長期借入金310,733千円の増加及び未払金211,421千円の減少によるものであります。固定負債は62,209千円となり、前連結会計年度末に比べて254,332千円の減少となりました。この減少は、主に長期借入金311,737千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。純資産は404,057千円となり、前連結会計年度末に比べて222,948千円の減少となりました。この減少は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失239,233千円の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日付「2023年3月期決算短信」で公表しております通り、当社におきましては日本におけるデジタルギフト事業も含めた事業の展開に関しまして、適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、グループ全体での業績予想の開示を見合わせる決定しております。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,320,823	1,028,142
売掛金	1,083,285	852,953
棚卸資産	3,536	151
その他	119,961	188,826
貸倒引当金	△49,818	△118,706
流動資産合計	2,477,787	1,951,366
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,378	4,378
その他	33,448	20,289
有形固定資産合計	37,827	24,667
無形固定資産		
投資その他の資産	20,506	23,909
投資その他の資産		
差入保証金	254,161	236,785
繰延税金資産	18,836	19,933
その他	12,674	109,841
投資その他の資産合計	285,672	366,560
固定資産合計	344,006	415,137
資産合計	2,821,794	2,366,504
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	217,434	109,887
1年内返済予定の長期借入金	—	310,733
短期借入金	—	111,100
未払金	903,043	691,621
前受金	557,426	518,334
未払法人税等	11,020	1,329
賞与引当金	2,283	399
その他	187,037	156,831
流動負債合計	1,878,245	1,900,237
固定負債		
長期借入金	311,737	—
その他	4,804	62,209
固定負債合計	316,541	62,209
負債合計	2,194,787	1,962,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,116,282	50,000
資本剰余金	677,950	376,840
利益剰余金	△1,268,922	△140,377
自己株式	△92	△92
株主資本合計	525,218	286,370
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,116	1,550
その他の包括利益累計額合計	△1,116	1,550
新株予約権	1,007	1,007
非支配株主持分	101,898	115,130
純資産合計	627,006	404,057
負債純資産合計	2,821,794	2,366,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,048,396	1,238,399
売上原価	633,825	494,197
売上総利益	414,570	744,202
販売費及び一般管理費	464,971	938,699
営業損失(△)	△50,400	△194,497
営業外収益		
受取利息	408	6,211
受取給付金	400	—
為替差益	—	10,599
債務勘定整理益	—	22,157
還付加算金	22,184	—
雑収入	373	856
営業外収益合計	23,367	39,825
営業外費用		
支払利息	1,246	5,032
売上債権売却損	8	—
為替差損	13,183	—
商品廃棄損	5,684	—
貸倒損失	—	7,561
創立費償却	318	—
訴訟関連費用	—	8,376
雑損失	847	1,363
営業外費用合計	21,287	22,333
経常損失(△)	△48,321	△177,006
特別利益		
負ののれん発生益	100,224	—
受取和解金	—	6,100
特別利益合計	100,224	6,100
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	64,774
特別損失合計	—	64,774
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,902	△235,680
法人税、住民税及び事業税	2,578	2,927
法人税等調整額	7,576	△606
法人税等合計	10,155	2,320
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,747	△238,001
非支配株主に帰属する当期純利益	—	1,232
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	41,747	△239,233

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,747	△238,001
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△8,236	2,666
その他の包括利益合計	△8,236	2,666
四半期包括利益	33,511	△235,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,511	△236,566
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間において当社の連結子会社であるMafin inc.の子会社としてMatched inc.を設立し、連結範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において当社連結子会社である株式会社スープの子会社として株式会社J Eマーケティングを設立し、連結範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	理美容事業	コンサルティング事業	通信販売事業	デジタルマーケティング事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	138,281	13,636	535,402	360,479	1,047,799	596	1,048,396
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,000	—	—	15,000	915	15,915
計	138,281	28,636	535,402	360,479	1,062,799	1,511	1,064,311
セグメント利益(又はセグメント 損失△)	△22,919	12,518	△10,666	△9,336	△30,404	△4,215	△34,620

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版関連事業及び代理店手数料収入等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△30,404
「その他」の区分の利益	△4,215
セグメント間取引消去	48,246
全社費用(注)	△64,027
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△50,400

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

Mafin inc. の100%の議決権を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、デジタルマーケティング事業のセグメント資産が2,136,420千円増加しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

Mafin inc. の100%の議決権を取得し、連結子会社になったことに伴い、デジタルギフトに関連する事業等を含めたデジタルマーケティング事業を新たに報告セグメントに追加することといたしました。

なお2022年6月30日をみなし取得日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヵ月を超えないことから、第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみ連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

Mafin inc. の100%の議決権を取得し、連結子会社になったことに伴い、第2四半期連結会計期間において、負ののれん発生益100,224千円を特別利益として計上しております。なお、当該負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含めておりません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	理美容事業	コンサルティング事業	通信販売事業	デジタルマーケティング事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	82,770	2,400	347,014	805,585	1,237,770	628	1,238,399
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	25,000	—	—	25,000	904	25,904
計	82,770	27,400	347,014	805,585	1,262,770	1,533	1,264,304
セグメント利益（又はセグメント損失△）	△5,233	18,420	△17,848	△150,269	△154,931	△925	△155,856

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版関連事業、投資事業及び代理店手数料収入等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△154,931
「その他」の区分の利益	△925
セグメント間取引消去	30,795
全社費用(注)	△69,436
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△194,497

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。